国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	子宮頸癌 Pembrolizumab+TC	(PTX+CBDCA) +BEV療法
疾患名	子宮頚癌	
診療科名	婦人科	
登録医師名	山本 暖	
適応	化学療法未治療の手術又は放射線療法による根 治治療の対象とならない進行・再発の子宮頚癌	

臨床区分	
▼ 日常診療	
□ 単施設自主研究	
□ 他施設自主研究	
□ 市販後臨床研究	
□治験	

抗癌剤適応分類							
☑ 進行・再発化学療法							
□ 術後化学療法							
□ 術前化学療法							
□ 局所療法							
□その他							

豆球口	2022年11月2日						
1クール期間	21日						
実施回数	6/0						

登母日 0000年14日0日

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日								注意コメント		
ΠÞ		际华权于里	半世	投号刀広	ין – על	拉马四回	day1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	·
1	レスタミンコーワ錠 10mg	5	錠	経口			•	_	_			_	_		_	_	パクリタキセル投与開始30分前までに 内服
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		•	_	_	_		_	_	_	_		血管確保用(フィルター付ルートを使用すること) ※開始から終了までECGモニターを 装着すること
3	生理食塩液 キイトルーダ点滴静注	100 200	mL mg	点滴静注	側管	30min	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	最終濃度:1~10mg/mL以上 インラインフィルターを使用すること。 キイトルーダ投与前後生食でフラッシュ
4	生理食塩液	50	mL_	点滴静注	側管		•	_	_			_	_	1	_	_	キイトルーダ後ルート洗浄用
5	生理食塩液 デキサート注射液 6.6mg パロノセトロン静注用0.75mg ファモチジン注射液 20mg	100 3 1 1		- 点滴静注	側管	30min	•	_	_		1	_	_		_	_	レスタミンと同時投与(レスタミン内服 不可患者には医師に確認)
6	生理食塩液 パクリタキセル注	500 175	mL mg/m2	点滴静注	側管	180min	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	インラインフィルターを使用すること。
7	生理食塩液 カルボブラチン点滴静注液	250 5	mL AUC	点滴静注	側管	60min	•	_		_		_			_	_	
8	生理食塩液 アバスチン点滴静注用	100 15	mL mg/kg	点滴静注	側管	90min	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	初回90min、初回の忍容性が良好であれば2回目60min、2回目の忍容性が良好であれば3回目以降30min投与前に生食フラッシュすること

備考欄
※6コース終了後はPembrolizumab+BEV維持療法へ移行する
※キイトルーダとパクリタキセルはフィルターを使用する。状況によりアプレピタントの併用を考慮すること。
※放射線増感剤としての化学療法歴は化学療法未治療として扱う
※アバスチンが不要な症例はアバスチンのないレジメンを選択すること

Pembrolizumab for Persisttent, Recurrent, or Metastatic Cervical

N Engl J Med 2021;385:1856-67、KEYNOTE-826試験

減量・中止基準

| | 各薬剤の添付文書・適正使用ガイド参照